

## 廃棄物処理施設の 契約業者・処理方式が決定

平成19年に始まる道内と東北ほか15県分のPCBを処理する北海道PCB廃棄物処理事業において、施設の契約業者と処理方式が決定しました。施設の概要と処理の流れをお知らせします。



### 処理施設の概要

建設場所 仲町

PCB処理能力 1.8t/日（PCB分解量）

処理方法 脱塩素化分解方式によるPCBの分解処理

契約業者 新日鐵・日鋼・神鋼環境異工種建設工事  
共同企業体

代表者 新日本製鐵株式会社  
構成員 株式会社日本製鋼所、  
株式会社神鋼環境ソ  
リューション



※技術提案書 PCB廃棄物処理施設に関して、PCBの処理技術、運転管理の方法や建設、運転時の費用などをとりまとめたもの。

昨年12月、PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物を処理する日本環境安全事業(株)が、廃棄物処理施設設置工事の入札実施について広く知らせ、技術提案書(※)を公募しました。事業者から提出された技術提案書を審査し、3月24日に入札を行った結果、室蘭市で実施する北海道PCB廃棄物処理事業における廃棄物処理施設の契約（設計）業者や処理方式等が決まりました。

# PCB処理の流れ

処理施設に搬入されたトランス（変圧器・コンデンサー（蓄電器）等のPCB処理の工程です。

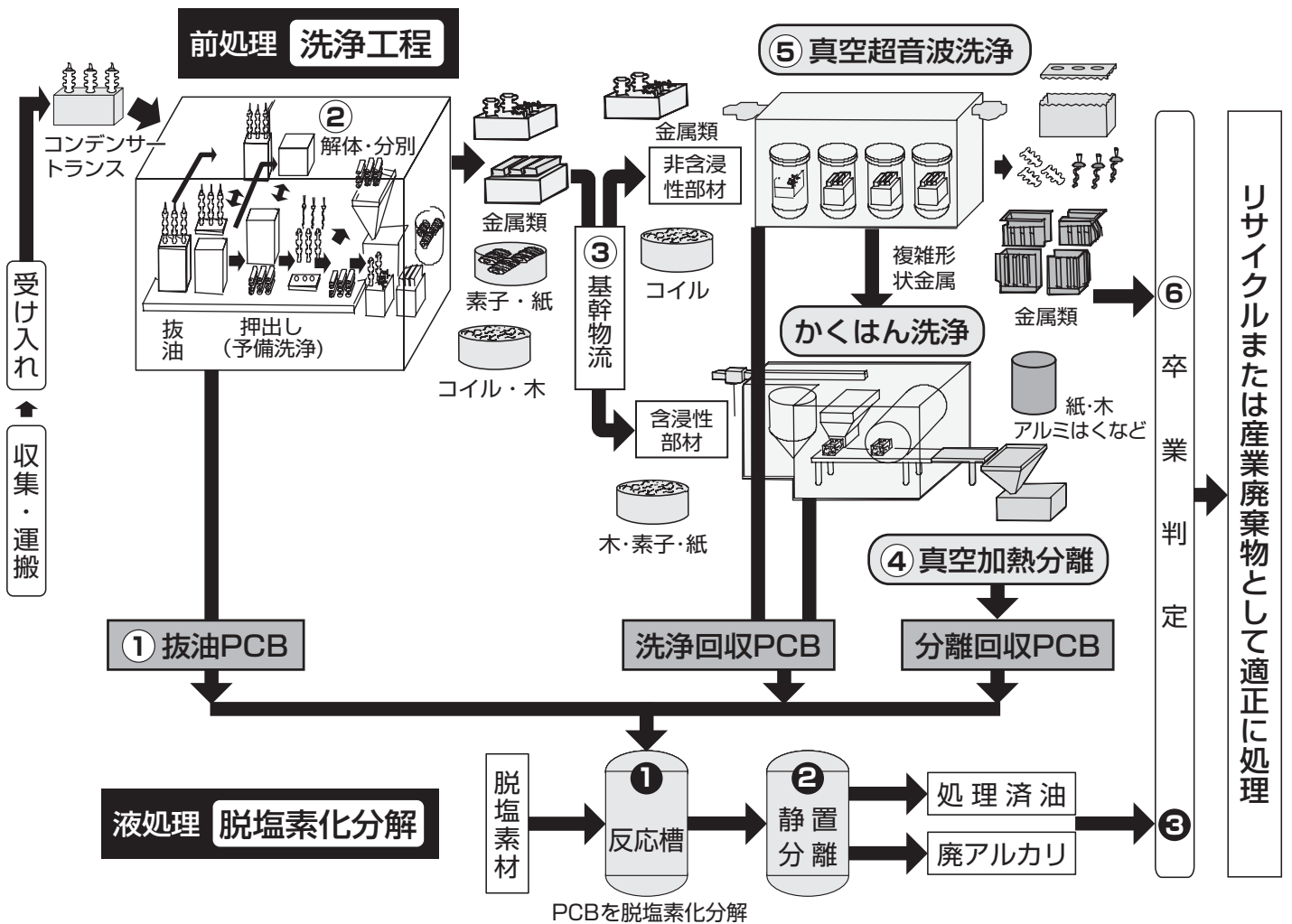
## 【前処理設備】

- ①トランス等からPCBを抜き取ります。
- ②トランス等を洗浄・解体し、中に入っている絶縁紙やコイルなどの部材を取り出します。
- ③部材は含浸性部材（PCBが染み込んだ紙・木などの部材）と非含浸性部材（金属など）に分けます。
- ④含浸性部材は、溶剤中でかくはん洗浄した後、真空状態で加熱し、PCBを蒸発させ回収します。
- ⑤PCBが染み込まない非含浸性部材は、真空状態における溶剤中で超音波洗浄し、PCBを回収します。また、複雑な形状の金属（電線など）は洗浄後、真空加熱処理し、PCBを回収します。
- ⑥PCBを回収した部材は、PCBが基準以下となっているか分析（卒業判定）し、基準以下の部材は、リサイクルまたは産業廃棄物として適正に処理します。

## 【液処理設備】

- ①前処理設備で抜油・回収されたPCBやPCBを含む洗浄後の溶剤等は、脱塩素剤（ナトリウム）により、

## 北海道PCB廃棄物処理施設の工程概要図



リサイクルまたは産業廃棄物として適正に処理

## PCB処理情報センター

日本環境安全事業(株)では、PCB廃棄物処理事業に関する情報を集約・管理し、迅速に提供するための（仮称）PCB処理情報センターを、旧御崎清掃工場敷地内に設置する予定です。

**プレゼンテーションルーム**  
150人を収容でき、PCB廃棄

物処理施設の概要、処理の方法や安全対策に関する情報を映像等により紹介します。

**情報公開ルーム**  
展示パネルやタッチパネル等で、PCB廃棄物処理施設の概要、施設の運転状況や環境調査結果の情報をわかりやすく紹介します。

**PCBの分解（脱塩素化分解）**  
PCBは塩素がたくさんついた油です。このPCBの塩素とナトリウムを反応槽で化学反応させ、無害な処理済油と塩にすることで、PCBを分解します。

脱塩素化分解反応槽で分解します。  
② 分解後にできる処理済油と廃アルカリは、分離した後、PCBが残っていないか分析（卒業判定）します。  
③ 卒業判定で基準以下となっているか確認後、リサイクルまたは産業廃棄物として適正に処理します。